

# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

## 1 子ども参加

### 1 - 1 子どもの権利の尊重

#### 1 - 1 - 1 子どもの権利

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0701	1 重-1	子どもの権利に関する条例の策定 子どもの視点に立ち、子ども一人ひとりの最善の生き方を地域で実現することの基本となる「子どもの権利に関する条例」を策定する。 子どもの権利に関する条例策定委員会と引き続き連携しながら、条例策定に向けて市民の関心を高めるための広報活動をすすめていく。	継続	子育て支援課	実施	子どもの権利に関する条例策定委員会において調査検討をすすめる
0701	2	子どもの権利擁護のための啓発と広報の充実 市報やホームページ等を通じて、子どもの権利擁護についての啓発を行う。 子どもが参加できる機会や時期をとらえ、子どもの権利について理解を深めるために、児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）及び子どもの権利に関する条例の啓発活動を充実する。同時に、子どもの権利について、職員・教員や市民への研修会の開催、情報提供及び広報活動に努める。	継続	子育て支援課	実施	子どもヒアリングやホームページによる広報
1503				教育指導課	実施	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約（抜粋）」を活用し、教員研修や学習指導教材として人権教育の指導方法の理解を深めた。
0403		人としての権利を尊重する教育の推進 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。		文化振興課		
0404	3 (再掲)4-3		継続	協働コミュニティ課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施（人権擁護委員との共催）
1503				教育指導課	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施した。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め年間5回研修を実施し、その成果を各学校で周知した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 2 子どもの生活支援

22.4月組織改正 22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	1重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。</p> <p>同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>(再掲)1-2-2、4-1-1、4-4</p>	継続	児童青少年課	実施	<p>中高生年代にも対応した特化型児童館（ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター）を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。</p>
0703	2重-6	<p>青少年センター機能の整備</p> <p>児童館の再編成の中で、中高生や青少年の居場所施設としての青少年センター機能を付加した特化型児童館を整備していく。</p> <p>青少年自身の企画・運営への参加を検討するとともに、青少年の学校外活動の情報収集、情報提供、子どもに関する相談活動等を行い、インターネット等を利用して活動の情報を提供する</p>	継続	児童青少年課	実施	<p>中高生年代にも対応した特化型児童館（ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター）を整備した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。</p>
0704		<p>家庭教育支援事業の推進</p> <p>親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。</p> <p>また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。</p> <p>(再掲)3-2-2(1)</p>		子ども家庭支援センター	継続	<p>・基幹型保育園と連携し子育て講座や子育て情報の提供を行った。</p> <p>・妊婦や父親が広場に集うきっかけとなるようプレパパママ事業2回、父親支援事業14回を実施した。</p>
0702				保育課	継続	<p>基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を通して地域の子育て家庭の支援を行った。</p>
0703				児童青少年課	継続	<p>児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。</p>

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 2 子どもの生活支援

22.4月組織改正 22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0605	3		継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー学級 1コース2日間（マタニティ・クッキング含む）18回開催 延べ参加者数 1,217人</li> <li>・育児相談 12回開催 992人</li> <li>・子育て講座（歯科編）24回開催 126組参加</li> <li>・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人</li> <li>・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人</li> <li>・ほっとサロン 11回開催 56組参加</li> <li>・離乳食講習会 12回開催 227人参加</li> <li>・ぱくぱく相談 23回開催 延べ211人参加</li> <li>・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組</li> </ul>
1603				公民館	継続	<p>親子が触れ合う機会を提供する講座を9事業延べ13回実施した。「お父さんと手打ちうどんに挑戦しよう!」「パパ・ママ・子どものふれあいライブ」では、合計27人の父親の参加を得られた。</p>

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 3 子どもの救済

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0701	1重-1	<p>オンブズパーソン制度(いじめなどからの子ども救済システム)の具体的検討</p> <p>いじめや不登校など、何らかの問題に遭遇した子どもたちからの相談が身近な場所でいつでも安心してできるよう相談体制を充実させる。</p> <p>子どもの権利侵害に対して相談を受け、権利侵害があった場合に実態の調査・勧告・提言の権限を持って子どもに寄り添った対応をするため、子ども自身が相談できる子どもオンブズパーソンを具体的に検討する。</p>	継続	子育て支援課	継続	西東京市子ども福祉審議会中間答申を受け、子どもの権利に関する条例策定委員会のなかで検討
0704	2重-11	<p>要保護児童対策地域協議会の活用</p> <p>要保護児童対策地域協議会の一環としての「実務者会議」を充実させ、ブロックごとに要保護児童等への支援が提供できるしくみを整備していく。</p> <p>虐待される子どもの救済に迅速・有効に行動できるよう、関係機関のネットワークを強化していく。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロック2回づつ計10回の実務者会議を実施し、ケース検討会議52回を実施した。
0704	3	<p>虐待・虐待再発防止のための学習機会の検討</p> <p>虐待や虐待の再発を防止するため、親を対象とした学習の機会等を充実させる。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	多様化する保護者への対応や児童虐待問題に対応するため、子ども家庭支援センター職員1名が児童福祉司任用資格認定講習会に出席した。
0704	4	<p>里親制度(養育家庭)の推進</p> <p>その役割や拡充が一層求められる傾向にある養育家庭・里親制度について広報・啓発をさらにすすめるため、関係部署との連携協力を努める。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は39名であった。</li> <li>・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。発表会を市広報誌に掲載することにより、制度の啓発を行った。</li> </ul>
1505	5	<p>スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化</p> <p>中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。</p> <p>(再掲)4-3</p>	継続	教育支援課	継続	スクールカウンセラーが配置されていない小学校17校に対し教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーと教育相談センター派遣の心理カウンセラーが一堂に会する定期的な連絡会において情報交換を行い、連携の強化を図った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 3 子どもの救済

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	6	地域アドバイザーの活動支援と連携の強化 小学校や児童館などで活動している心の東京革命推進協議会地域アドバイザーとの連携を強化し、活動の支援を推進する。	継続	児童青少年課	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。ぼしあーも(早期からのしつけ後押し事業)
1505	7	スキップ教室(適応指導教室)の充実 いじめや情緒的混乱、学業不振等により不登校になっている子どものためのスキップ教室(適応指導教室)を充実し、学習支援や学校生活復帰への援助を在籍学校と連携して行う。入室児童・生徒数の増加に対応するため、教員・教室の整備等を長期的展望に基づいて推進する。	継続	教育支援課	継続	教科指導をはじめ、調理実習や校外活動等体験学習、キャリアサポート等を取り入れ、充実を図った。ケース会議により児童・生徒理解を深め、また、主任会議、合同全体会議等を開催し、両教室と教育相談センターとの情報交換、課題についての検討を行った。年度始めに学校訪問を行い、在籍校とは、担任連絡会のほか、必要に応じ、連絡調整を行った。
0704	8	子ども自身からの相談に対応できる相談システムの検討 子どものための相談窓口について子どもからの認知度が上がるように広報活動を強化する。子どもが相談しやすい方法を探るため、電話・インターネットで相談できる体制を検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約2840部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約8700部配布した。市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を掲載した。子どもからの相談件数が19・20年5件から21年18件、22年19件に増加した。
1999				関係各課		
0701	9	子ども自身が身を守るための学習プログラムの推進 子どもが犯罪の被害者にならないように、子ども自身が暴力から自分の身を守ることを学習するプログラムの実施を推進する。	継続	子育て支援課	継続	子ども施策と子どもの権利に関する条例との関係について、子どもの権利に関する条例策定委員会のなかで検討
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-1 子どもを支える地域のシステム

22.4月組織改正 22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	1 重-2	子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。 (再掲)1-2-2	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへ継続的に支援した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。
0403				文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月20日、21日実施 600名参加
0802				みどり公園課	検討	特になし
0701				子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討
1999				関係各課		
0703				2 重-3	児童館の親子で参加できる行事や企画の充実 児童館事業として、親子で参加できる行事や企画を今後も継続し、充実する。	継続
0703	3 重-2	子ども調査の推進 子どもたちがいつも使う施設について、利用のしやすさや事業内容等を定期的に評価し、改善提案等をしていく子ども調査の継続と意見反映システムを、魅力ある施設づくりのための条件と位置付けて推進する。	継続	児童青少年課	継続	下保谷児童館及びひばりが丘児童館においては今後の施設運営に中高生の声を反映させていくため、中高生委員会を立ち上げた。
1604				図書館	実施	図書館の事業評価を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 1 子どもを支える地域のシステム

22.4月組織改正 22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	4重-16	<p>防犯対策の充実</p> <p>市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員・児童委員、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。</p> <p>また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。</p> <p>「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。</p> <p>防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。</p> <p>(再掲)4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	・市内全小学校の育成会連絡会において、地域支援による安全確保を図った。
1503				教育指導課	実施	・市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。
0411				危機管理室	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。
1999				関係各課(警察)		
0703	5重-16	<p>子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進</p> <p>災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。</p> <p>子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポくんの家)を引き続き推進すると同時に、ピーポくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。</p> <p>小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。</p> <p>(再掲)4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ピーポくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。
0411				危機管理室	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関(消防署・警察署)への災害時要援護者名簿の提供

# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

## 1 子どもの参加

### 1-2 子ども自身の参画への支援

#### 1-2-1 子どもを支える地域のシステム

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	6 重-3	プレイリーダーの養成と活用 プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー（子どもの遊びや活動の支援者）派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。	継続	児童青少年課	継続	今年度、民間の専門事業者（NPO）に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼びかけた
1601		(再掲)1-2-2、3-2-2-(1)、4-4		社会教育課	検討	・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレイリーダーの活用の機会について児童青少年課と協議した。
0402	7	農業体験の拡充 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 (再掲)1-2-2	継続	産業振興課	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。 平成22年9月26日に水菜と蕪の種まき、平成22年11月5、6日と水菜の収穫、11月27日は蕪の収穫を行った。参加者は親子20組51名。
0703	8	青少年育成会への支援の充実 青少年育成会の活動支援とともに、相互の交流活動等を支援することで、子ども同士や親も含めた地域社会との関わりをより広く体験できるようにする。	継続	児童青少年課	継続	・青少年育成会への支援を継続して実施した。 ・青少年育成会連絡会全体事業「歩け歩け会」への支援を継続して実施した。
0701	9	地域の子育て協議会の設置 子育て家庭同士、さらには地域で子育てに関心を持っている人々をつなぐ「子育てグループの集い」を開催する等、地域のつながりを深める交流事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	子育て情報冊子に子育て関連団体情報を掲載。 市民全体があらためて青少年を意識する日として「青少年の日イベント」を実施した。
0404		子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。 子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。 (再掲)3-2-1		協働コミュニケーション課	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを活用した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション（市民活動支援ホームページ）を活用した。



子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1 - 2子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0702	10		継続	保育課	継続	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・妊婦や父親支援事業を16回行い、延370人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延267グループが利用し、活動した。
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。
2002				(社会福祉協議会)	実施	社協地域活動拠点において、学生主体の子育てグループを支援した。社協地域活動拠点モデル事業「わくわくサロンのおはなし会」を開催した。(3回) 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育てグループに助成金を交付した。(4団体) 子育てサロン開設講座を実施した。(1回) 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 イベント情報の広報協力(掲示板、後援名義使用の支援) 武蔵野大学生との座談会実施「子育てネットワークづくり」 コラボイベント開催の支援
0402	11	地域通貨の活用の検討 子どもたちが地域でのボランティア活動などを通じて社会参加できるしくみとして、地域通貨の活用を「産業振興マスタープラン」の策定内容と連携して検討する。	新規	産業振興課	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品券について、平成22年11月21日から平成23年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。 また、産業振興マスタープランにおいては、「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」ということで、今後検討を行っていく。
0701				子育て支援課	検討	調査検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 1 子どもを支える地域のシステム

22.4月組織改正 22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
1601	12	地域の人材発掘・活用の推進 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。 人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。	継続	社会教育課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成23年3月31日現在63人、124件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成23年3月31日現在21人から37講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。
2002		(再掲)3-2-1、4-3		(社会福祉協議会)	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷・武蔵)。福祉体験授業への協力(田無)。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校30プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。
2003				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) 東伏見教室 その他教室 小学生習字 西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・理科  小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)
1999				関係各課		
0701		13 重-2		ファシリテーターの養成と活用 社会活動への子どもの参加を促進するために、ファシリテーターの育成事業を検討実施する。また、子どもの意見を取り入れ、参加を促進する場面へのファシリテーターの活用を検討していく。	新規	子育て支援課

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0403	1 重-2	<p>子どもの公共施設利用促進の方法の検討</p> <p>公共施設や事業の企画・運営・利用への子どもの参加や、年齢に応じた子どもだけでの利用を進める。また、利用料の減免、利用申込資格など、子どもが利用しやすい運営を検討する。</p>	継続	文化振興課	実施	指定管理者5館(南町、緑町、芝久保、東伏見コミセン・ふれあい)において、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習、調理をする場所として定着している。
0703				児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、特化型児童館については、中高生委員会やアンケート調査を実施し、その意見を反映するとともに児童館利用を促進させた
1603				公民館	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料
0101				企画政策課	検討	・子どもたちを含めた幅広い世代のニーズを考慮しながら、市内全体の公共施設の適正配置・有効活用についての検討を進め、今後の全体的な取組の方針となる「公共施設の適正配置に関する基本方針」を策定した。
1999				関係各課		
0703	2 重-2	<p>子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進(再掲)</p> <p>児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。</p> <p>また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。</p> <p>(再掲)1-2-1</p>	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへ継続的に支援した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。
0403				文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月20日、21日実施 600名参加

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0802				みどり公園課	検討	特になし
0701				子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討
1999				関係各課		
0802		子ども参加型ですすめる遊び場づくりの推進		みどり公園課	検討	特になし
0701	3重-2	公園等の遊び場の設置・改善を子どもが企画等を中心に行う子ども参加型ですすめ、子どもが遊びたいような遊び場について具体的に検討する。	新規	子育て支援課	検討	子どもの権利に関する条例策定委員会において、子ども参加の手法について調査検討
0703		子ども参画による生涯学習事業の推進		児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。
1603	4重-2	子どもが対象となる生涯学習事業については、児童館や公民館等と連携し、企画・運営への子ども自身の参画の推進を図る。	継続	公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・若者による駅前公民館の音楽室練習室の利用が定着しつつある。
0703	5重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲)  施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。  1-1-2、(再掲)4-1-1、4-4	継続	児童青少年課	実施	中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。
0703		「遊びの学校」事業の検討・実施		児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。
1601	6重-3	現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。  (再掲)3-2-2-(2)、4-4	継続	社会教育課	検討	・児童青少年課との協議

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

22.4月組織改正

22年度

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	7	屋外の遊び場の充実 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイリーダーの派遣を推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施し、児童館事業への参加を推進する。 ひばりが丘児童館の建替えにあたり屋外にフットサルコートを整備した。
0802				みどり公園課	検討	特になし
0703	8	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1、(再掲)3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	今年度、民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼びた
1601				社会教育課	検討	・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレイリーダーの活用の機会について児童青少年課と協議した。
0701	9	中学校の余裕教室を活用した「自習室」事業の検討 放課後や休日の中学校の教室を活用して自習室やグループ学習室への開放事業、地域のボランティアと協力した中学生の自主的活動などを検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
1999				関係各課		
1602	10	屋内の居場所の充実 総合体育館やスポーツセンターの個人開放事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	スポーツセンター個人開放事業(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業(バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業(バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。
0402	11	各地域に小さい拠点(居場所)づくりの推進 「街なかサロン事業」と連携し、市内の店舗や民家等の一角を提供してもらい、談話コーナーやパソコンの設置等により、気楽に情報検索や語らえる場づくりを検討する。 子どもに理解がある地域協力者を募り、家や部屋開放など、地域の中に居場所づくりをすすめる。	新規	産業振興課	中止	平成22年度に策定した産業振興マスタープランにおいては、街なかサロン事業の実施は位置づけられていない。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
2002				社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して、武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行った。(街なかサロンにこにこで実施) 夏！体験ボランティア西東京2010を実施(小学生～社会人 101名参加)

# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

## 1 子ども参加

### 1 - 2 子ども自身の参画への支援

#### 1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	12	出前児童館の充実 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 (再掲)4-1-1	継続	児童青少年課	継続	地域特性等に応じた出前児童館を引き続き実施した。
0403	13	音楽練習室等活用の推進 音楽練習室の子どもによる利用を促進するとともに、施設の拡充を引き続き検討する。	継続	文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。
0703				児童青少年課	実施	下保谷児童館を建替え、下保谷児童センターとしてリニューアルオープンに合わせスタジオ、ライブスタジオを整備した
1999				関係各課		
1604	14	図書館の子どもスペースの充実 現在の子どもスペースの拡充、グループで談話しながら利用できる場、中高生の参加を得ながら図書館利用を推進する。	継続	図書館	継続実施	既存事業の継続的な実施。中高生世代を対象として広報誌の作成に参加させることを検討し、実施計画に基づき要領等を作成。要領等に基づき、参加者を募集し、決定した。
1604	15	図書館利用者交流会の検討 カウンターで直接、さらには投書での利用者の意見や要望の反映にとどまらず、選書や運営について意見を聞く場づくりを検討する。	新規	図書館	一部実施	個別計画のパブリックコメントや講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。
1604	16	読み聞かせリーダー育成事業の推進 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 (再掲)3-2-2-(1)	継続	図書館	継続実施	読み聞かせボランティア養成講座（連続3回）を実施した。講座受講者は、各館おはなし会へ参加。
0402	17	農業体験の拡充(再掲) 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 1-2-1	継続	産業振興課	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。平成22年9月26日に水菜と蕪の種まき、平成22年11月5、6日と水菜の収穫、11月27日は蕪の収穫を行った。参加者は親子20組51名。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0403	18	子ども向けの芸術・文化・スポーツの振興 市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、地域や社寺のまつり、各種施設の行事など、各種の催しやイベントを通じて、子どもたちが芸術・文化・スポーツなどに親しみ、体験できるよう、子ども向けの企画・運営を充実する。	継続	文化振興課	実施	市民まつり：都立保谷高校のボランティア参加、児童対象はしご車体験、キックターゲット、キャラクターショーの実施等。参加者約168,000人。 市民文化祭：碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、箏曲子ども向けワークショップ実施、総合プログラムを小中学校の生徒へ配布。参加者約17,000人。 どんど焼：明保中、保二小、上向台小で実施。参加者約4,008人。
1604				図書館	実施	下保谷児童館・新町児童館との共催おはなし会の継続 新町のお祭りへの会場提供 芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供継続 田無公民館まつりへの参加
1603				公民館	実施	・主催講座の実施 「したのや縄文キッズくらぶ」「フードコーディネーターによる料理&食材レッスン」「子ども日本舞踊講座」「子ども音楽講座」「科学あそび講座」「キッズ茶道講座」「子ども陶芸講座」
0701				子育て支援課	実施	趣旨について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討
1602				スポーツ振興課	実施	体育の日に市民スポーツまつりを実施。 秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。 9月に小学生ドッジボール大会3・4年生大会、2月に小学生ドッジボール大会5・6年生大会を実施。 2月に小学生ミニバスケットボール大会を実施。 7月・11月に少年サッカー教室、11月に少年野球教室を実施。（指定管理者） その他各種教室を通年で実施。（指定管理者）
2002				19	地域活動体験の拡充 青少年育成会等を通じて、子どもたちが地域の環境美化や福祉等のボランティア活動に参加できる機会を拡充する。 社会福祉協議会や地域の人材等と連携することにより、児童・生徒が主体的に取り組むボランティア活動を行い、人と関わる体験を深め、自主性・自立性を高める。	継続
0703	児童青少年課	継続	児童館において中学生の職業体験を受け入れた。			

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
1603	20	ものづくり体験の拡充 公民館での子ども向け事業に、子どもたちがものづくりを体験できる企画を拡充する。	継続	公民館	実施	主催講座の実施 「夏休み陶芸教室」「針穴カメラワークショップ」「子どもいろいろ体験教室」
0403	21	各国の子どもが集える事業の検討 参加者の企画参加による、留学生と高校、大学、社会人を対象とする「多文化交流キャンプ」の検討と宿泊型キャンプ等を通じた国際理解の推進を図る。地域の人々と各国の子どもたちや子育て家庭が集える祭り事業などを、既存のイベントの活用を図りながら検討する。	新規	文化振興課	実施	・8月6日及び7日にNPO企画提案事業「ひょうたん島ワークショップ」を実施
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0403	22	青少年海外派遣事業の検討 青少年が世界に目を向け国際理解が進むように、青少年海外派遣事業を検討する。	新規	文化振興課	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0802	23	身近にボール遊びのできる場所の検討 身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。 (再掲)4-4	継続	みどり公園課	検討	特になし
1602				スポーツ振興課	実施	健康広場個人開放事業(指定管理者)
0703				児童青少年課	実施	中高校生年代に対する魅力ある児童館づくりの一環としてひばりが丘児童館の建替に合わせフットサルコートを整備した。
0302	24	おとな利用が中心となる施設に子どもの遊び場併設の検討 おとな利用が中心となる公共施設に、子どもの遊び場の併設を検討する。	新規	管財課	実施検討	保谷庁舎では子どもが市民広場の芝生で自由に遊ぶことができるようになった。(ボール遊び等スポーツは禁止。) 田無庁舎については21年度同様検討を継続した。
0403				文化振興課	実施	・芝久保地区会館:児童館併設 ・東伏見コミュニティセンター:子どもが集まる場として館が機能 ・コール田無:ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館:夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放 ・保谷こもれびホール:公演時における保育機能あり
1603				公民館	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学習等は、既に行われている。
1999				関係各課		



# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
1602	25	<p>「総合型地域スポーツクラブ」事業の推進</p> <p>子どもたちが放課後や休日に、公共施設や学校施設等でスポーツを楽しめるよう、「総合型地域スポーツクラブ」事業を推進する。</p>	継続	スポーツ振興課	継続新規	<p>補助金の交付や、市報を通じてクラブの事業をPRするなど、既設のクラブ(にしはらスポーツクラブ)の活動支援を実施。</p> <p>また、新たに東伏見地域のクラブ設立に向けて、助言指導等を行った。</p>

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 3 子どもと情報

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
701	1 重-2	子ども参画による広報紙づくりの検討 公民館、図書館などの広報紙の取材や紙面づくりへの子ども参加を検討する。	新規	子育て支援課	調査検討	「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会内で調査・検討
1603				公民館	調査検討	ミニコミ紙の廃刊が続く中、地域情報の発信と紙面づくりに参画できる双方向性を重視した編集を検討する予定。子ども参画は、その中での検討事項。
1604				図書館	継続実施	既存事業の継続的な実施。中高生世代を対象として広報誌の作成に参加させることを決定し、実施計画に基づき要領等を作成。要領等に基づき、参加者を募集・決定した。
0103	2 重-4	市報や市のホームページの子ども向け情報の充実 子どもにとって読みやすい市報づくりと子ども向け情報の充実、さらには市のホームページの「キッズページ」を拡充する。	継続	秘書広報課	継続	市報については、成人(保護者)向け一般市政記事が主なため全ての市報内容についての子ども向けは、現実的に不可能である。担当課より子ども向け原稿の依頼があった場合は、事業写真やイラスト等を使い子どもたちの目に付くような紙面を心がけるとともに、内容についても理解しやすいよう努める。ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載することで新しい切り口での情報提示を行った。
1999				関係各課		
0103	3	子ども向け情報提供方法の検討 西東京市のホームページ等とリンクした子ども向けホームページの充実や、子どもへの広報を拡充する。 インターネット等で子ども向け情報を子どもたちが収集しやすいように、学校など子どもの身近な場所にパソコンを設置するように努める	継続	秘書広報課	継続	ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載することで新しい切り口での情報提示を行った。
1501				教育企画課	継続	小・中学校の児童・生徒向けの広報紙を発行するよう継続して予算化し、市立学校の1年間の取組を掲載した『西東京の教育 47号』を3月15日に発行した。また、子ども記者コーナーを年度内発行の『西東京の教育』43号から46号まで連続して掲載、中学生の取材・執筆による自然・環境をテーマにした記事を掲載した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 3 子どもと情報

				22.4月組織改正	22年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
1503				教育指導課	実施	・教員研修において「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。
0701				子育て支援課	継続	基となる「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討
1503	4	<p>情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進</p> <p>教科の学習や総合的な学習の時間でのコンピュータの活用など、多様な情報機器を活用した学習を推進するとともに、子どもと青少年が各年齢層に見合った方法で必要な情報に適切にアクセス・発信できるように、その成長発達段階に応じたメディアリテラシーの育成を推進する。</p> <p>(再掲)4-3</p>	継続	教育指導課	実施	<p>・情報教育担当者連絡会を2回実施し、情報教育の充実を図った。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。</p> <p>・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。</p>
0403	5重-4	<p>すべての子どもに必要な情報を届けるしくみの整備</p> <p>日本語を母語としない子どもや、障害のある子どもが必要な情報にアクセスしやすい方法やしぐみについて検討する。</p>	新規	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。多言語版生活便利帳は隔年発行のため、今年度は発行しなかった。
1999				関係各課		
1503	6重-4	<p>有害情報からの子どもの保護</p> <p>有害情報から子どもを保護するための方策やシステムを検討する。</p>	新規	教育指導課	調査検討	有害情報に関する指導内容や指導方法等について先行実施している取組・実践を調査研究し、本市における実施に向けて方向性を検討した。
0703	6重-4			児童青少年課	継続	東京都が作成している「ファミリールール講座」のリーフレットを窓口に置き啓発した。